

令和2年8月12日

一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会  
代表理事 出渕 靖志 様

公益社団法人 日本臨床工学技士会  
理事長 本間 崇



## タスク・シフト/シェアに関する厚労科研調査への協力について (依頼)

拝啓

ますます ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃から種々お世話になり深謝いたします。

さて、医師の働き方改革に向けて、医師の労働時間短縮を実現するための議論がなされております。

現在、臨床工学技士、診療放射線技師および臨床検査技師等へのタスク・シフト/シェアに関する検討が最終段階に至っており、提案されている行為について、安全かつ適切な実施体制を確保する観点から調査が計画されております。つきましては、下記のとおり、ご協力いただきたく存じます。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 1. アンケート調査の概要について

- ・ 実施者：令和2年度「診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士の業務範囲拡大のための有資格者研修の確立及び学校養成所教育カリキュラム見直しに向けた研究」  
主任研究者 北村 聖（公益社団法人地域医療振興協会 地域医療研究所）
- ・ 方 法：Excelシート等を用いたアンケート調査 ※調査票を添付
- ・ 対象者：臨床工学技士へのタスク・シフト/シェアが検討されている行為を  
現在、実施している医師や看護師（業務内容は次頁にてご確認ください）
- ・ 内 容：臨床工学技士へのタスク・シフト/シェアを行うにあたって  
ア. 当該職種の教育課程上追加的に必要と考えられる内容  
イ. 実践上留意する必要があると考えられる内容
- ・ 期 間：2020年8月17日(月)～8月28日(金)

#### 2. アンケート調査の実施における協力について

- ・ 貴会員が在籍される医療機関などにおいて、医師や看護師に調査を依頼してください。
- ・ 回収されたExcelシートを貴会で取りまとめの上、[jace-chousa@ja-ces.or.jp](mailto:jace-chousa@ja-ces.or.jp)に送付ください。

以上

参考 臨床工学技士へのタスク・シフト/シェアが検討されている行為

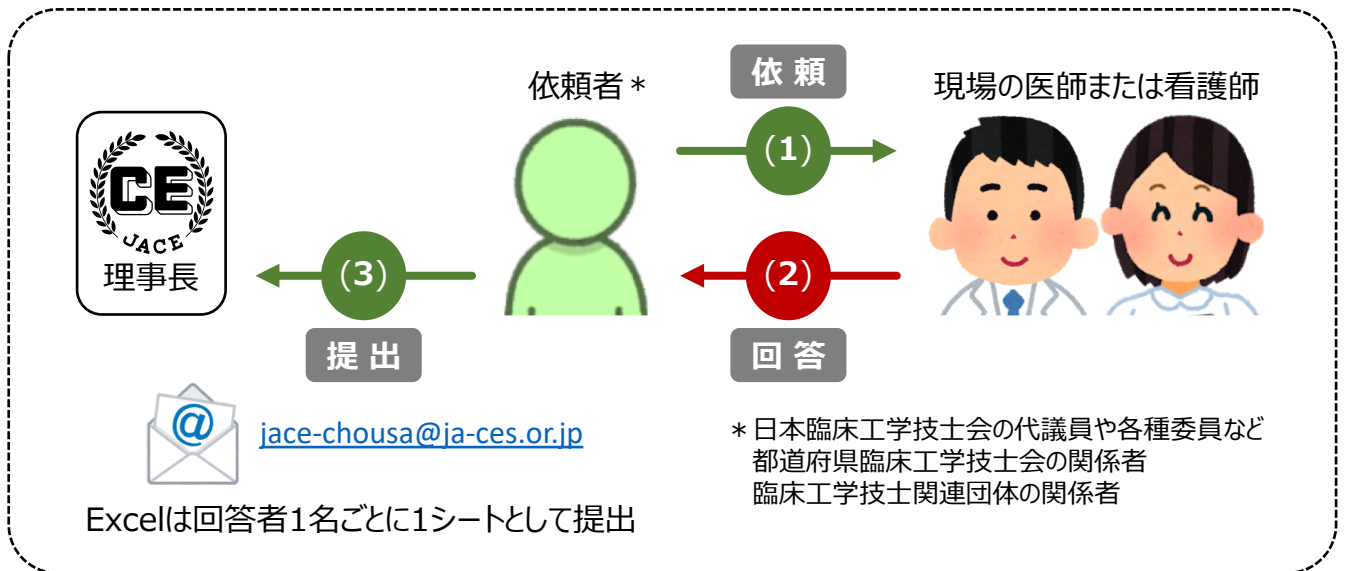
- ① 手術室等で生命維持管理装置を使用して行う治療において、当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続するために静脈路を確保し、それらに接続する行為
- ② 手術室等で生命維持管理装置を使用して行う治療において、輸液ポンプやシリンジポンプを用いて薬剤を投与する行為
- ③ 手術室等で生命維持管理装置を使用して行う治療において、当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続された静脈路を抜針及び止血する行為
- ④ 血液浄化装置の穿刺針その他の先端部の動脈表在化への接続又は動脈表在化からの除去
- ⑤ 心・血管カテーテル治療において、生命維持管理装置を使用して行う治療に関連する業務として、身体に電氣的負荷を与えるために、当該負荷装置を操作する行為
- ⑥ 手術室で行う鏡視下手術において、体内に挿入されている内視鏡用ビデオカメラを保持する行為、術野視野を確保するために内視鏡用ビデオカメラを操作する行為

## 1. 日臨工の対応方針について

日臨工役員や関係団体を介して、医療現場の医師または看護師に調査を依頼する。  
また、依頼者自ら、Excelシートを回収し、日臨工に提出する。

## 2. アンケートの依頼から回答の提出までの流れについて (依頼者の役割)

- (1)所属施設などにおいて、医師や看護師に調査協力を依頼してください。
- (2)回答者から回答済みのExcelシートを受け取り、(3)[jace-chousa@ja-ces.or.jp](mailto:jace-chousa@ja-ces.or.jp)に提出ください。



## 3. 依頼および回答にあたっての留意事項について

- ・調査対象者には、例として外科系の医師、麻酔科の医師、血液浄化や心・血管カテーテル治療に携わる医師、看護師があげられます。なお、医師と看護師の比率は問いません。
- ・調査対象者自らExcelシートに記入することを基本としますが、依頼者が代行入力することでも差し支えありません。
- ・「主たる診療科」について、看護師の場合、診療科を選択しづらいことが想定されますが、「21. その他」を選択し、オレンジ色の枠内に従事する場所 (透析室や集中治療室など) と記載することでも差し支えありません。
- ・設問は属性に関するもの以外に6問ありますが、専門などに応じて可能な設問に回答をお願いしてください。
- ・問2の⑤「心・血管カテーテル治療において、生命維持管理装置を使用して行う治療に関連する業務として、身体に電氣的負荷を与えるために、当該負荷装置を操作する行為」については、「アブレーションにおける高周波エネルギーの負荷」等が想定されます。

## 4. 不明な点について

- ・不明な点がございましたら、貴殿に、調査協力をなされた担当者 (日本臨床工学技士会の理事や代議員、他) にお尋ねください。